

たかおか

市議会 だより

No.79 6月定例会号
令和7年(2025年)8月1日発行

6月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	3P
一般質問(一括質問・一括答弁)	4P
委員会の動き	8P

編集 ■ 広報広聴委員会

発行 ■ 高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

「生まれ変わっていく古城公園」(たかおか市議会だより表紙写真 応募作品) 撮影: 山上 尊士



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



補正予算・条例など

28議案を可決・承認・同意

一般質問に14人が登壇

6月定例会は5日に開会し、19日に閉会しました。

市長から令和7年度一般会計補正予算をはじめ28議案が提出され、全ての議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、一般質問に14人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・承認・同意した 主な議案等

条例

■市税賦課徴収条例の一部改正

令和7年度税制改正に伴い、所要の改正を行うもの。

(1)大学生年代の子等を持つ親等の個人住民税について、特定扶養控除の対象となる子等の所得要件の緩和や、特定親族特別控除の創設

(施行期日)

令和8年1月1日

(2)加熱式たばこの税額計算について、紙巻きたばこの税負担水準に近づけるため、換算方法の見直し

(施行期日)

令和8年4月1日

(3)公示送達方法について、インターネットを通じて閲覧できる状態に置く措置をとる等の見直し

(施行期日)

地方税法等の一部を改正する法律(令和5年法律第1号)附則第1条第12号に掲げる規定の施行の日

■ひとり親家庭等医療費助成 条例の一部改正

ひとり親家庭等医療費助成の所得判定の適用期間を、児童扶養手当の当該期間と統一するため、所要の改正を行うもの。

(施行期日)

令和7年10月1日

■国民健康保険条例の一部 改正

地方税法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

	改正後
基礎課税分	66万円
後期高齢者 支援金等分	26万円
介護納付金分	17万円
計	109万円

(1)賦課限度額の見直し

軽減割合	改正後
7割	43万円+ (給与所得者等の数-1)×10万円以下
5割	43万円+30.5万円×被保険者数等+ (給与所得者等の数-1)×10万円以下
2割	43万円+56万円×被保険者数等+ (給与所得者等の数-1)×10万円以下

(2)軽減判定所得基準の見直し

その他

■工事請負契約の締結

都市計画道路路下伏間江福田線の京田地下道二期工事における本体工事を行うもの。

契約金額 1億7160万円

■工事請負契約の締結

(仮称)教育総合支援センターを整備するため、旧平米小学校の改修及び増築工事を行うもの。

契約金額 1億9443万円

■工事請負契約の変更

高岡西部中学校区小中一貫校校舎増築及び改修に係る公共工事について、新労務単価を適用し、契約金額を変更するもの。

(1)校舎増築及び改修その1工事
(変更前) 8億6724万円
(変更後) 8億7351万円

(2)校舎増築及び改修その2工事
(変更前) 7億4085万円
(変更後) 7億4492万円

(3)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億1068万円
(変更後) 3億1483万円

(4)校舎増築及び改修機械設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(5)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(6)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(7)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(8)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(9)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(10)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(11)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(12)校舎増築及び改修電気設備工事
(変更前) 3億3352万円
(変更後) 3億3550万円

(3)消防ポンプ自動車(古府分団)の更新
取得価格 2248万円

(4)災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材(福岡消防署)の更新
取得価格 3876万円

(5)消防救急デジタル無線移動局系設備の更新及び可搬型無線装置の新規導入
取得価格 1億9580万円

(6)消防救急デジタル無線車載型受令装置の更新
取得価格 2585万円

(7)消防団活動用無線機の更新
取得価格 3850万円

人事

農業委員会委員
荒木 正昭氏(新任)

選挙

砺波地方衛生施設組合議会議員補欠選挙
梅島 清香議員

庄川水害予防組合議会議員補欠選挙
酒井 善広議員

報告

専決処分報告

地方税法の改正に伴い、市税賦課徴収条例を一部改正したものの。

(1)総排気量125cc以下で最高出力を4.0kw以下に制

YouTubeでの映像配信を行っています!!

本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を行っています。表紙のQRコードから映像の一覧を確認できます。また、4～7ページの各議員の顔写真横のQRコードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。



御したバイクに係る軽自動車税種別割の税率を年額2000円に設定
 (2)長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る固定資産税の減額措置について、マンションの区分所有者から申告書等の提出がない場合も管理者等からの書類の提出により減額措置の適用を可能にする規定の新設や、減額措置の適用期限を令和9年3月31日まで延長

議会日誌

3月定例会後～6月定例会前

- 3月26日 広報広聴委員会
- 27日 代表者会議
- 4月 2日 代表者会議
- 10日 広報広聴委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 14日 民生病院常任委員会
- 16日 代表者会議
- 17日 産業建設常任委員会
- 18日 代表者会議
- 23日～24日 議会運営委員会
行政視察
- 5月 7日～8日 総務文教常任委員会
行政視察
- 7日～9日 産業建設常任委員会
行政視察
- 8日～9日 民生病院常任委員会
行政視察
- 13日 議員説明会
- 19日 総務文教常任委員会
- 21日 代表者会議
人口減少社会対策特別委員会
- 22日 民生病院常任委員会
港湾・交通・観光対策特別委員会
- 26日 産業建設常任委員会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 正副常任委員長会議

6月定例会

- 6月 5日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 11日 本会議(一般質問(一括))
- 12日 本会議(一般質問(一括))
- 16日 代表者会議
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
- 17日 議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 19日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)
総務文教常任委員会

議決結果一覧表 (令和7年6月定例会)

[議案]

番号	件名	結果
第51号	令和7年度一般会計補正予算(第1号) 8億952万円 <補正予算の主な内容> ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業 7億5,940万円 ・高岡古城公園維持管理事業 2,250万円 ・学校空調設備等整備事業 1,412万円 ・消費喚起・復興応援プロジェクト支援補助金 900万円 など	可決
第52号	令和7年度高岡市民病院事業会計補正予算(第1号)	
第53号	令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)	
第54号	市税賦課徴収条例の一部改正	
第55号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例を定める条例及び産業集積促進条例の一部改正	
第56号	ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正	
第57号	国民健康保険税条例の一部改正	
第58号	水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部改正	
第59号	工事請負契約の締結(下伏間江福田線立体交差整備二期その4工事)	
第60号	工事請負契約の締結((仮称)教育総合支援センター改修及び増築工事)	
第61号	工事請負契約の変更(高岡西部中学校区小中一貫校校舎増築及び改修その1工事)	
第62号	工事請負契約の変更(高岡西部中学校区小中一貫校校舎増築及び改修その2工事)	
第63号	工事請負契約の変更(高岡西部中学校区小中一貫校校舎増築及び改修電気設備工事)	
第64号	工事請負契約の変更(高岡西部中学校区小中一貫校校舎増築及び改修機械設備工事)	
第65号	財産の取得(土地)	
第66号	財産の取得(避難所冷暖房用資機材)	
第67号	財産の取得(消防ポンプ自動車)	
第68号	財産の取得(災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材)	
第69号	財産の取得(消防救急デジタル無線移動局系設備)	
第70号	財産の取得(消防救急デジタル無線車載型受令装置)	
第71号	財産の取得(消防団活動用無線機)	
第72号	損害賠償の額の決定	
第73号	市道路線の認定及び廃止	
第74号	令和7年度一般会計補正予算(第2号) 169万円 <補正予算の主な内容> ・市議会議員選挙事務費 90万円 ・参議院議員選挙事務費 41万円 ・市長選挙事務費 38万円	
第75号	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	
第76号	市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	
第77号	農業委員会の委員の任命について同意をを求める件	

[報告]

番号	件名	結果
第4号	専決処分報告(市税賦課徴収条例の一部改正)	承認

いずれも、全会一致で可決、承認、同意されました。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、14人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



田中 勝文
未来創政会

田中議員の
質問の様子はこちら



行政手続のデジタル化

オンライン申請やキャッシュレス決済など、行政手続に関するデジタル化の進捗状況は。

未来政策部長 令和6年度の電子申請手続の項目数は211種類、オンライン申請件数は2万6156件であり、5年度と比較すると項目数で53種類、申請件数で8845件増加した。市としては、デジタル手法の利便性を浸透させていくことが重要と考えており、デジタルサービスの紹介や使用方法のPR等を展開し、行政手続のデジタル化の定着を図っていききたい。

クラウドファンディング

クラウドファンディングたかおか事業に認定されたプ

プロジェクトの実現に向けて、どのような支援を行っているのか。

未来政策部長 プロジェクトへの共感や支援を得るためのノウハウ、資金調達の手法などに関するセミナーを年2回開催している。その上で、認定プロジェクトについては、寄附募集サイトに掲載するウェブページの作成や返礼品の設定方法等についてサポートを行うとともに、市ホームページやSNS等で情報発信に努めている。



大井 正樹
未来創政会

大井議員の
質問の様子はこちら



多面的機能支払交付金

本市の多面的機能支払交付金の活動組織が、将来的にも農業の継続が可能となるよう、市として具体的にどのような支援策を考えているのか。

機能支払交付金を活用して、125の組織が活動しているが、高齢化などの要因が重なり、小規模な活動組織では共同活動の継続が困難になってきている。市としては、交付申請や計画策定の際のサポート・助言など、地域に寄り添った支援を行っている。今後とも、国の施策を踏まえながら、地域の実状に即した支援を講じていきたい。

持続可能な農業の育成

国が水田政策を抜本的に見直すとしている今、本市の農業を持続可能なものとするため、今後の高岡の農業に対する想いは。

市長 農業は、食糧生産の根幹であることはもとより、国土や自然環境の保全、地域コミュニティの維持にも大きな役割を果たしており、国の基であると考えている。今後とも、農家の方々や未来を担う子どもたちにとって、農業が将来に希望を持つことができ、産業者となるよう、国や県、関係事業者とともに挑戦を続けていきたい。



梅島 清香
未来創政会

梅島議員の
質問の様子はこちら



書かない窓口の評価

令和7年1月からスタートした「書かない窓口」の効果や成果についての評価は。

生活環境文化部長 1件あたりの手続きに要する時間が短くなったことで待合席の滞留が減り、目に見える形で混雑が緩和されている。また、職員はより良いサービスの向上に向け検討する時間の確保ができるようになった。期待していた以上の効果や成果が得られていると評価している。

液状化対策の手法

液状化被害の再発防止対策として、面的な液状化対策に代わる手法も検討しては。

市長 面的な液状化対策について地下水位低下工法を有効な対策工法に選定した。しかし、将来にわたり大規模な地震による液状化被害から確実に地域を守る手法とは言い切れないため、新たな選択肢も検討する必要があると考えている。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



若者や女性に選ばれるまちへ

若者や女性の県外流出の課題解決へ向けた本市の考え方は。



企業課題と若者のマッチング

*地下水位低下工法：裏表紙(8ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

市長 若者や女性にとって魅力的で働きやすい環境を整えることが重要と考えている。このため、本市では、高校生や大学生と地元企業との繋がりを創出する「青春インターン」や「キワプロ」事業等に取り組んでいる。高岡を離れていたとしても、人生の様々な岐路で、高岡で暮らすことを選択肢の一つとして常に意識していただけるような施策にも挑戦することで、若者や女性に選ばれるまちづくりを進めていきたい。

補聴器の購入に助成を

図 認知症予防対策として、中等度難聴者への補聴器購入補助を実施してはと考えるが、見解は。

福祉保健部長 国立長寿医療研究センターの研究によると、現時点では、補聴器による認知症予防の効果は明らかとなっていないが、全国的な傾向としては、中等度難聴を有する成人に対する補聴器購入費用の助成制度を導入する自治体が増えている。市としては、センターの研究の進捗状況を注視するとともに、他自治体の事例も踏まえ、当該助成制度の在り方について、県の考え方も確認しながら意見交換をしていきたい。



上田 武
立憲民主・
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



液状化対策の費用負担

図 地下水位低下工法を採用した場合の維持管理費について、住民に費用負担を求めず、公費負担とすべきでは。

市長 公費負担とすべきとの声も承知しているが、これは30年間にわたる税の使い道を決めることにもつながるとともに、本市における受益者負担の考え方にも影響が出る可能性がある。このため、負担の在り方については、県や同じく被害のあった市とも相談し、慎重に検討を進めている。今後、試験施工と並行して、負担の在り方についても考えをまとめた上で、広く市民の理解が得られるよう、「強い高岡」の構築に向けて取り組んでいきたい。

戦後80年を迎えて

図 原水爆禁止高岡協議会の取組に市としてどう関わっていくのか。

教育長 協議会では、被爆80



戦争被害を今に伝える原爆ドーム

周年事業として、被爆体験講話の開催や中学校での原水爆ポスター展の巡回を予定している。市としても、各中学校への事業趣旨の説明や協力依頼などを実施している。協議会が長年続けてきた世界平和の実現に向けた活動を引き続き支援していきたい。



熊木 義城
高岡 愛

熊木議員の
質問の様子はこちら



マイナ保険証と医療費助成

図 こども医療費受給者証について、マイナンバーカード

との一体的な運用を行っては。**福祉保健部長** 現在、国において、マイナ保険証1枚で医療費助成のオンライン資格確認を実施できるよう、システムの構築や環境整備を進めており、令和8年度以降の全国展開を目指している。導入にあたっては、自治体と医療機関いずれのシステムも改修が必要となるため、医療機関や県、他市町村と連携を図りながら、一体的な運用に向けた検討を進めていきたい。

企業版ふるさと納税

図 寄附の受け入れ拡大を図るため、積極的に企業へ告知、広報を行うべきと考えるが、見解は。

未来政策部長 企業への告知、広報は大切な視点と考えており、様々な機会を捉えた積極的な取組を展開している。また、令和6年4月には、新たにカーボンニュートラル資源循環プロジェクト、地域防災プロジェクトを寄附メニューに追加した。現在、150を超える企業や団体が登録するSDGsパートナーの方々には、関係企業への声掛けを既に依頼しているが、災害時における連携協定を締結している企業に対して、声掛けを依頼したい。



埜田 悦子
立憲民主・
社民議員団

埜田議員の
質問の様子はこちら



将来の農地利用の在り方

図 地域計画作成の中で、農業従事者から、どのような声があったのか。

産業振興部長 地域計画は将来の農地利用の姿を示すものであり、市内全24地区において、地域の担い手の方々の様々な声を伺い、計画に反映させている。具体的には、担い手の確保、農地の維持管理、農地の大区画化等における課題や対策が挙げられる。市としては、計画策定後においても継続的に地域での話し合いの場を設けており、地域課題に対する取組事例を紹介することで課題解決のきっかけにしたいなど、地域の取組を後押ししていきたい。

日常生活自立支援事業

図 順番待ちで利用できない方もいるようだが、実態は。**福祉保健部長** 近年は、単身高齢者の増加に加え、認知症に限らず、知的・精神障がい

*日常生活自立支援事業：裏表紙(8ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

のある方への支援ニーズも高まっているが、対応できる職員が不足し、すぐに利用できない場合もある。市としては、事業の利用状況を把握し、現場の課題を実施主体である県社会福祉協議会へ伝え、サービスを速やかに利用できるように働きかけていきたい。



坂林 永喜
未来創政会

坂林議員の
質問の様子はこちら▼



防災力の向上に向けて

地区防災計画の実効性を高めることが必要では。

総務部長 地区防災計画の実効性を高めるためには、自主防災組織や防災士に加え、地域の関係者が連携し、日頃から様々な災害や状況を想定した訓練を継続的に行うことが必要である。また、そこで得られた課題を踏まえて計画を随時見直し、活動していくことが災害発生時の行動につながるかと考えている。

高岡庄川緑地公園の維持管理

園 持続可能な維持管理体制のための課題とその対策の考

えは。

都市創造部長 資機材等の価格上昇への対応や、管理協会の会員数減少と高齢化による担い手不足など、活動する人の確保が課題である。このため、令和7年度、資材価格等の上昇に対応するため、管理委託料を見直したところであり、今後も適切に対応していきたい。また、担い手については、一部の利用者から清掃活動に協力したいとの声もあり、そうした方々にも管理に携わっていただけるよう検討したい。



新開 広恵
公明党

新開議員の
質問の様子はこちら▼



学校司書の配置拡充を

園 小中一貫校では、幅広い年齢層への対応が必要なため、学校司書のさらなる配置拡充が求められるが、方針は。

教育長 学校司書が2校兼務の学校もあることから、まずは全ての学校において専任化の実現を優先したい。本市の施設一体型の小中一貫校における学校図書館は、小学生と

中学生がともに利用できるメディアルームとして整備している。運営にあたっては、学校司書と司書教諭等との連携に加え、児童会や生徒会の活動の充実により、魅力ある学校図書館を目指したい。

女性人材バンク

園 女性人材バンクの取組状況と今後の課題に向けた対応策は。

生活環境文化部長 本事業は、人材と事業所双方の希望が合わず面談に繋がる機会が少ないことが課題である。このため、本市では、チラシの配付や説明会等を行うとともに、キャリアアカウンセリングやスキルアップ研修を行い、登録人材の増加や新たなスキルを身に付け、マッチングに繋げる取組を行っている。



福井 直樹
未来創政会

福井議員の
質問の様子はこちら▼



高岡型コミュニティ交通

園 高岡型コミュニティ交通の構築に向けた今後の展望は。
市長 令和7年度には、城端

線・氷見線の全駅にICカードシステムが導入される予定であり、万葉線も含めた市内の鉄軌道全てが1枚のカードで乗継可能となり、利便性が飛躍的に高まるものと期待している。また、骨格的公共交通へのアクセスを担う市民協働型地域交通システムについては、これまでのノウハウ等を生かし、導入を検討する地域にきめ細やかに対応していくことで、さらなる普及・拡大を図っていく。今後も各交通事業者や地域の方々をしっかりと支え、連携を強化しながら、高岡型コミュニティ交通の確立に向けて取り組んでいきたい。

上下水道耐震化計画

園 上関配水池の耐震化に向けた今後の予定は。



改築工事が予定される上関配水池

上下水道事業管理者 上関配水池は、施設が老朽化しているため、改築予定を前倒しして進めることとし、令和7年度に詳細な設計を行う。工事は分けて行う予定であり、第1期工事は9年度からの2か年計画で、4000㎡の配水池を1池整備する予定である。第2期工事は第1期工事終了後、今後の水需要を見極めながら、配水池の有効容量を検討した上で整備したい。



酒井 善広
未来創政会

酒井議員の
質問の様子はこちら▼



庄川右岸の浸水対策

園 災害に強いまちづくりについて問う。

(1) 庄川右岸の県営農村地域防災減災事業が始まっているが、受け止めは。
(2) 中田の市街地の浸水対策を進めるべきと考えるが、見解は。

市長 (1) 本事業により、排水機能が強化され、流域全体の洪水防止に大きな効果を発揮するものと期待している。また、将来にわたり、本市の中

*市民協働型地域交通システム：裏表紙(8ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

田地区をはじめ、関係市の地域住民の方々が安心して暮らせるよう整備されていくものと考えている。今後とも、国、県に対して、事業の着実な推進を働きかけるとともに、流域治水の観点のもと、庄川右岸地域の安全・安心な生活環境の確保に努めていきたい。

都市創造部長

(2)中田地区の浸水対策としては、市街地を貫流する三仏川、鯉川の氾濫対策を目的とした流域調査や流下能力調査を進めてきた。令和7年度は、三仏川の護岸詳細設計を実施するとともに、鯉川の護岸の嵩上げ工事に着手する予定である。8年度以降も引き続き、浸水対策を進め、中田地区の住民が安心して暮らせる環境整備を図っていききたい。



石須 大雄
立憲民主
社民議員団

石須議員の
質問の様子はこちら



「カスハラ条例」の制定を

東京が全国初となるカスハラ条例を制定したが、本市も市内で働く労働者のために条

例の制定を検討しては。

産業振興部長

これまで12月のハラスメント撲滅月間に合わせて、富山労働局で開設しているハラスメント対応相談窓口を広報紙で周知するなど、啓発に努めている。今後は、厚生労働省から示される予定のカスハラに対する指針に基づき、関係機関と連携し、働きやすい職場づくりに向け、市内企業への一層の周知を図っていききたい。

伏木港を防災拠点港に

伏木港が防災拠点港となるよう、国や県に港湾計画の見直しを要望しては。

都市創造部長

港湾計画については、平成11年の計画改訂から25年が経過している。港湾管理者である県は、国や本市のほか、港湾、漁業、観光等の地域の関係者からなる伏木富山港長期構想検討委員会を設立し、令和6年度から、計画改訂に向けて、おおむね20年から30年後を見据えた長期構想を検討しているところである。伏木港の防災拠点化については、長期構想の検討状況を見ながら、必要に応じて、計画への位置づけを本市からも伝えていきたい。



林 貴文
自由民主党
高岡市議会議員会

林議員の
質問の様子はこちら



水泳指導環境の充実

今後の本市の水泳指導環境の充実に向けて、どのように考えているのか。

教育長

現在、民間施設等の屋内プールを活用したプールの授業の実証実験を実施しており、学校からは、おおむね好意的な意見が出ている。水泳指導は、子どもの命を守る上で大切な学習である。今後、実証事業の検証結果を踏まえ、子どもたちにとって、より安全で楽しく効果的な水泳学習、また、持続可能な水泳学習はどうあるべきか十分な検討を重ねていきたい。その上で、民間施設等の活用も含め、将来にわたって水泳学習に必要な環境を確保できるように努めていきたい。

高齢者の運転免許自主返納

令和6年2月からハンドル形電動車いすの購入も支援対象となったが、これまでの実績は。また、利用率向上の

ため、さらに条件緩和しては。生活環境文化部長 現在まで利用実績はない。本市が対象とするハンドル形電動車いすは、安全性に配慮し、日本産業規格を満たす製品に限定しているが、市民ニーズや他市町村の事例等を参考に、支援内容や安全性の基準等について、調査・研究していきたい。



曾田 康司
未来創政会

曾田議員の
質問の様子はこちら



市政運営の総括と市の将来像

「高岡を前へ進める」ため全力を注いだ市政運営を振り返っての総括と、本市の将来像についての想いは。

市長

高岡が活力あるまちであり続けられるようまちづくりを進めてきた。市民サービスの向上のため、どこでも市役所の導入等に取り組んだほか、カーボンニュートラルや城端線・氷見線の再構築といった中長期的な未来を見据えた取組も進めてきた。また、スポーツコアの人工芝フィールドの開設、高岡古城公園樹木管理行動計画の推進など、



被災したインフラの復旧工事

まちの魅力を高めることに取り組んだことに加え、TASUの整備や御旅屋人マーケットの実施、市民協働型地域交通システムの充実など、市民の挑戦を後押ししてきた。さらに、高岡おとぎの森公園へのカフェ誘致や駐車場の増設等に取り組んだところであり、今後もこどもを「まんなかに据えた取組を推進したい。また、新型コロナウイルスや豪雨災害、震災など困難にも直面したが、スピード感を持って対応にあたった。「持続可能な未来都市高岡」の実現に向け、こどもたちが将来に夢や希望を持ち、夢の実現に向けて挑戦することができ、挑戦を支える人が溢れるまちを市民と創りたい。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 学校空調設備等整備事業費について、財源である空調設備整備臨時特例交付金の期限は令和15年度だが、前倒しで実施する6校以外の学校の整備時期は。

答 6校以外の学校体育館の空調設備については、7年度予算で実施する空調環境調査でどのような整備方法が有効かを検証し、7年度中に整備計画を策定する。この計画に

基づき、有効な財源を活用しながらできるだけ速やかに整備に向けた検討を進める。

○民生病院常任委員会

問 高岡市民病院LED照明リース契約について、高岡市民病院のLED化の達成率は。

答 これまで計画的にLED化に取り組んできており、今回の補正予算によるリース契約で、達成率はほぼ100%となる。

○産業建設常任委員会

問 消費喚起・復興応援プロジェクト支援補助金について、補助内容は。

答 当該補助金は、商工団体等もしくは商店街等が行うプレミアム商品券発行事業に対し、支援するものである。商

工団体等に対しては、プレミアム率20%の商品券発行組数7500部を1万部に上乗せする分に対して、500万円を限度に助成する。商店街等に対しては、発行する商品券のプレミアム率の20%から30%への嵩上げに対し、1団体あたり発行想定数2000組・200万円を限度に助成する。

用語解説コーナー

地下水位低下工法

※4ページ掲載
地下水位の高さを強制的に低下させ、液状化が発生する可能性がある地表面下数メートルを非液状化層とし、液状化の被害を低減する工法。

日常生活自立支援事業

※5ページ掲載
県社会福祉協議会が実施主体

となり、市社会福祉協議会が受託して実施している事業。高齢者や障がい者など、判断能力が十分でない方々の日常生活での困りごとの相談に応じたり、福祉サービスの利用に対する援助や、日常的な金銭の管理の手伝いをして、日常生活の支援を行う。

市民協働型地域交通システム

※6ページ掲載
骨格的公共交通（鉄軌道や路線バス等）と接続する交通サービスを地域住民が主体となって運営し、市が調整、補助などの支援をする運行形態。令和7年6月現在では、5つの地域で導入されている。

地域タクシーを運営する守山地区の「もりまる」と野村地区の「のむたく」、自家用車を活用した乗合交通を運営する中田地区の「ノツカル中田」、地域バスを運営する小勢地区の「ぐるっとおせ地区バス」と木津地区の「木津ぐるりんバス」がある。

編集後記

ガソリン代や食料品など物価高騰が依然として続いています。とりわけ日本の主食である「米」の高騰と販売数の不足が大きな社会問題となっています。

6月定例会でも、米の生産者にとって山積している課題や本市の農業施策について問う質問が多くみられました。このほか、本市の重要課題である被災地の液状化対策をはじめ、高齢者福祉、終活サポート、市民病院、書かない窓口、若者・女性の起業支援、クラウドファンディング、公園の維持管理など、幅広い分野についての質問が繰り広げられました。市民の方々に関心を持っていただくことは、議会にも行政にもよい緊張を生みます。気になるテーマの録画映像をYouTubeでぜひ視聴してみてください。

市民の方々の意見に耳を傾け、市政がより良いものとなるよう、引き続き議員一同取り組めます。

★編集委員

◎山上 ○篠井

梅島、田中、桢田、中村、坂林、酒井

(◎委員長 ○副委員長)

9月定例会の予定

9月定例会は、下記のとおり開催される予定です。
なお、日時等は、8月25日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 1日(木) 11時 議員協議会
13時 本会議 (提案理由説明)
- 3日(金) 10時 本会議 (代表質問)
- 8日(木) 9時 議会運営委員会
10時 本会議 (一般質問(一括))
- 9日(金) 10時 本会議 (一般質問(一括))
本会議終了後
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 11日(土) 9時 代表者会議
10時 民生病院常任委員会
13時 産業建設常任委員会
- 12日(日) 10時 議会運営委員会
13時 総務文教常任委員会
- 17日(金) 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
13時 本会議 (議案など議決)
- 18日(土) 10時 水道病院決算特別委員会
13時 決算特別委員会
- 19日(日) 9時30分 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
- 22日(木) 9時30分 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
- 24日(土) 10時 水道病院決算特別委員会
13時 決算特別委員会
- 29日(木) 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
本会議終了後
代表者会議
13時 本会議 (決算の認定など議決)

市議会の傍聴

3月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和7年4月	—	1人
5月	—	3人
6月	69人	1人